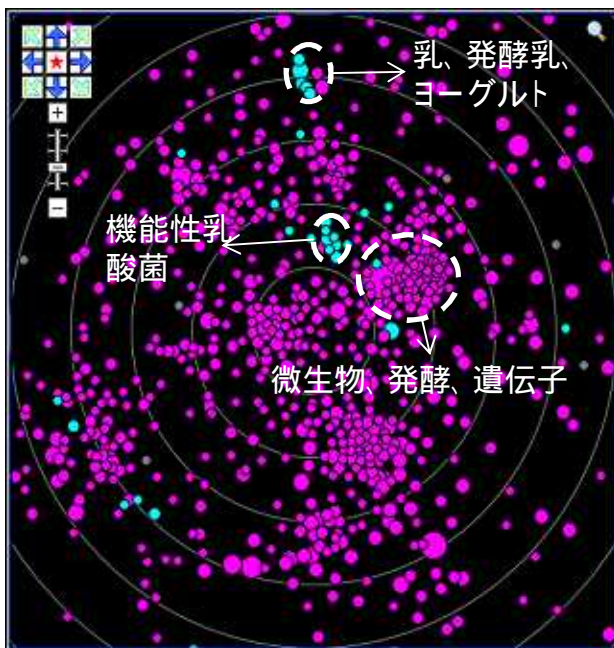


M&Aを技術の視点から分析 味の素、カルピスの経営統合事例 明治製菓、明治乳業の経営統合事例

味の素とカルピス事例

2007年6月、味の素は株式交換によりカルピスを完全子会社とすることを発表。

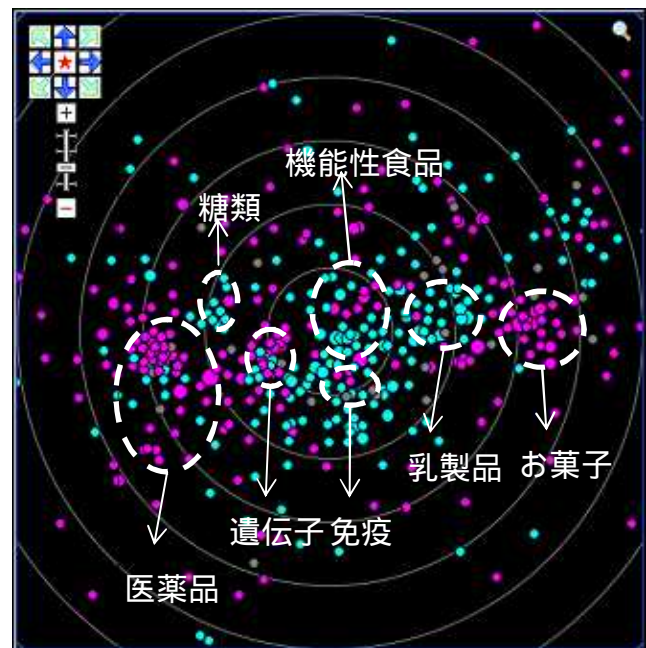
味の素 カルピス



明治製菓と明治乳業事例

2008年9月、明治製菓と明治乳業は経営統合を発表。

明治製菓 明治乳業



1つの点は1つの特許集合(クラスター)を意味しています。類似性の高い特許は同じクラスターに入ります。大きいクラスターは多くの特許を含んでいます。内容の近いクラスター同士は近くに配置されます。クラスターが集中している領域は研究開発が活発な分野です。

XLUSの解析結果によれば、味の素は、カルピスの強みである乳酸菌・微生物活用技術の知財を獲得。健康事業開発を強化・補完か。

XLUSの解析結果によれば、両社は お菓子と乳製品の分野において、それぞれの強みがある。また、「健康、治療補助」に着目した機能性食品の分野において、相乗効果が期待できそう。

**M&A候補の探索、シナジー効果の分析に、
XLUS(カイラス)をご活用ください。**

～ お問い合わせは、下記まで～

株式会社 **創知**

Tel: 03-6231-7910

<http://so-ti.com/>